

# 平成29年度 事業報告書

公益財団法人日本ハンドボール協会

## 1. 競技力向上に関する事業

### 《強化》

#### 1) 強化関連会議・施策など

強化委員会 6回/年

協働コンサルテーション会議（スポーツ庁・JSC・JOC・JHA）2回/年

※「2020・24強化戦略プラン」改訂し、スポーツ庁・JSC・JOCと共有。

※海外移籍選手の支援。（池原 →ニューコビンファルスター（デンマーク））

※平成29年度JSC「女性アスリートの戦略的強化・支援プログラム」（スポーツ庁委託事業）の実施。アンゴラ・ポーランドを招聘し、国際経験を積んだ。

※平成30年度強化スタッフを選定した。（強化・情報科学・医事委員会との協働）

※平成30年度強化スケジュールを作成した。

※平成30年度「JOC強化指定選手」第1四半期の選出、JOCへの提出。

#### 2) 国際大会・国際交流親善試合

チーム名	大会名	日程	場所	結果
男子U-19	リューベック国際大会 (第4回強化合宿)	06/25-07/04	ドイツ ・リューベック	—
男子U-22 女子U-22	第5回東アジア選手権	06/25-07/03	日本・岩手県	男/優勝:JPN, 2位:KOR, 3位:TPE 女/優勝:KOR, 2位:CHN, 3位:JPN
女子U-20	ジュニアアジア選手権	07/13-07/24	中国・香港	優勝:KOR、2位:CHN、3位:JPN
男女代表	日韓定期戦2017	07/29	日本・東京都	男 KOR35(19-09, 16-16)25JPN 女 JPN28(12-13, 16-15)28KOR
女子代表	JAPAN CUP2017	08/1-08/07	日本・熊本県	—
男子U-19	ユース世界選手権	08/04-08/21	ジョージア ・トリビシ	優勝:FRA、2位:ESP、3位:DEN 8位:JPN
女子代表	おりひめトライアルゲームズ	08/07-08/14	日本・熊本県	優勝:ANG、2位:POL、3位:JPN
女子U-18	第7回ユースアジア選手権	08/18-08/29	インドネシア ・ジャカルタ	優勝:KOR、2位:JPN、3位:CHN
女子U-16	第21回日韓スポーツ交流	09/04-09/09	韓国・済州島	KOR 25(12-08, 13-06)14 JPN
男子U-16	日韓スポーツ交流2018	09/11-09/16	韓国・済州島	KOR 27(12-09, 15-16)25 JPN
男子U-16	日韓スポーツ交流2018	10/11-10/16	日本・沖縄県	KOR 21(09-09, 12-11)20 JPN
女子U-16	第21回日韓スポーツ交流	10/18-10/23	日本・佐賀県	KOR 26(12-06, 14-13)19 JPN
女子代表	第23回女子世界選手権	12/01-12/17	ドイツ	優勝:FRA, 2位:NOR, 3位:NED, 16位:JPN
男子代表	バーレーン戦	01/13	日本・東京都	BHR 21(10-08, 11-12)20 JPN
男子代表	アジア選手権	01/15-01/29	韓国・水原市	優勝:KAT, 2位:BHR, 3位:KOR 6位:JPN

### 3) 海外強化合宿

チーム名	事業名	日程	場所	参加人数計(選手、スタッフ)
女子代表	欧州遠征A	06/03-06/06	デンマーク ・ノルウェー	27名(選手19名、スタッフ8名)
男子U-19	第4回強化合宿	06/21-06/25	ドイツ	24名(選手18名、スタッフ6名)
男子代表	欧州遠征A	08/01-08/16	アイスランド	24名(選手18名、スタッフ6名)
女子代表	欧州遠征B	11/20-11/30	スペイン・オランダ	24名(選手21名、スタッフ5名)
男子代表	欧州遠征B	12/25-01/06	ポーランド ・アイスランド	26名(選手19名、スタッフ7名)

### 4) 国内強化合宿(男女代表)

チーム名	場所	日程	参加人数(役員・選手)
男子代表	第1回ANTC	04/21-05/12	31名(選手21名、スタッフ9名)
	第2回ANTC	07/03-07/26	30名(選手20名、スタッフ10名)
	第3回ANTC	11/27-11/29	30名(選手21名、スタッフ9名)
	第4回ANTC	12/04-12/06	29名(選手20名、スタッフ9名)
	第5回ANTC	01/08-01/15	30名(選手21名、スタッフ9名)
	第6回ANTC	03/26-04/02	26名(選手19名、スタッフ7名)
女子代表	コンディショニングクリニック	06/03-06/06	45名(選手30名、スタッフ15名)
	第1回ANTC	07/14-07/30	32名(選手23名、スタッフ9名)
	第2回ANTC	07/30-08/01	29名(選手20名、スタッフ9名)
	第3回北國銀行	09/10-09/13	28名(選手20名、スタッフ8名)
	第4回ANTC	11/12-11/19	30名(選手21名、スタッフ9名)

### 5) 国内強化合宿(男女under代表)

チーム名	場所	日程	参加人数(役員・選手)
男子U-24	第1回ANTC	07/20-07/24	19名(選手16名、スタッフ3名)
	第2回ANTC	03/25-03/28	30名(選手27名、スタッフ3名)
男子U-22	第1回ANTC	05/25-05/29	27名(選手24名、スタッフ3名)
	第2回ANTC	06/20-06/25	22名(選手18名、スタッフ4名)
男子U-21	第1回ANTC	12/10-12/13	40名(選手31名、スタッフ9名)
	第2回ANTC	02/09-02/12	36名(選手27名、スタッフ9名)
	第3回ANTC	03/28-04/02	34名(選手25名、スタッフ9名)

男子 U-19	第 1 回 ANTC	04/27-04/30	29 名(選手 24 名、スタッフ 5 名)
	第 2 回 ANTC	05/17-05/21	27 名(選手 22 名、スタッフ 5 名)
	第 3 回 ANTC	06/21-06/25	24 名(選手 18 名、スタッフ 6 名)
	第 5 回 ANTC	08/01-08/04	28 名(選手 18 名、スタッフ 10 名)
	第 6 回 ANTC	03/01-03/04	30 名(選手 24 名、スタッフ 6 名)
男子 U-16	第 1 回 ANTC	09/08-09/13	23 名(選手 16 名、スタッフ 7 名)
	第 2 回 沖縄県	10/10-10/11	20 名(選手 16 名、スタッフ 4 名)
女子 U-24	第 1 回 大阪体育大学	01/09-01/12	33 名(選手 30 名、スタッフ 3 名)
	第 2 回 北國銀行	03/05-03/08	25 名(選手 22 名、スタッフ 3 名)
女子 U-20	第 1 回 ANTC	05/21-05/23	34 名(選手 28 名、スタッフ 6 名)
	第 2 回 北國銀行	06/21-06/25	23 名(選手 18 名、スタッフ 5 名)
	第 3 回 ANTC	07/10-07/13	25 名(選手 18 名、スタッフ 7 名)
	第 4 回 大阪体育大学	01/09-01/12	29 名(選手 26 名、スタッフ 3 名)
	第 5 回 大阪体育大学	02/09-02/12	30 名(選手 26 名、スタッフ 4 名)
	第 6 回 北國銀行	03/05-03/08	25 名(選手 22 名、スタッフ 3 名)
女子 U-18	第 1 回 ANTC	04/18-04/22	25 名(選手 20 名、スタッフ 5 名)
	第 2 回 ANTC	05/20-05/23	24 名(選手 18 名、スタッフ 6 名)
	第 3 回 ANTC	07/06-07/09	24 名(選手 18 名、スタッフ 6 名)
	第 4 回 ANTC	08/14-08/18	27 名(選手 18 名、スタッフ 9 名)
	第 5 回 大阪体育大学	02/09-02/12	28 名(選手 25 名、スタッフ 3 名)
女子 U-16	第 1 回 ANTC	08/31-09/04	23 名(選手 16 名、スタッフ 7 名)
	第 2 回 佐賀県	10/14-10/17	20 名(選手 16 名、スタッフ 4 名)

## 6) その他

実施時期	概要	場所	参加人数等
04/20	女子アンダー強化会議	ANTC	スタッフ 10 名
06/10	トレーナーブロック長会議	ANTC	スタッフ 13 名
06/11	医事専門委員会/アンチ・ドーピング 特別委員会合同会議	ANTC	総数 14 名
10/10	強化スタッフミーティング	協会事務所	スタッフ 11 名
11/03-11/05	医事・栄養学的調査	石川県	全日本学生選手権出場校での調査
11/03-11/05	医事専門委員会/アンチ・ドーピング アウトリーチ啓発活動	石川県	全日本学生選手権会場にて実施
11/04	医事専門委員会第 2 回会議	石川県	全日本学生選手権会場にて実施
01/14	強化支援グループ活動 環境企画運営チーム活動	協会事務所	出席者 14 名
01/26-01/28	男子アンダーカテゴリースタッフ男子 アジア選手権視察派遣	韓国・水原市	スタッフ 4 名
03/03	情報科学専門委員会全体会議	東京理科大学	スタッフ 18 名
03/25	医事専門委員会/アンチ・ドーピング 特別委員会合同会議	駒沢体育館	総数 15 名
03/28	男子アンダー強化会議	ANTC	スタッフ 15 名

## 7) 日本代表チーム

- (1) 男子代表は第 18 回アジア選手権において、第 6 位となり第 26 回男子世界選手権のアジア大陸代表としての出場権獲得はならなかった。
- (2) 女子代表は第 23 回女子世界選手権に出場し、予選リーグを第 3 位で通過（初）し、決勝トーナメント 1 回戦でオランダ（同大会第 3 位）と対戦し善戦したものの、延長戦の末敗れ最終第 16 位であった。

## 8) アンダー日本代表チーム

- (1) 男子については、世界へのチャレンジは U-19 代表のみであった。U-19 代表は第 7 回男子ユース世界選手権において予選リーグを突破。決勝トーナメント 1 回戦はエジプトを逆転で勝利し、初のベスト 8 進出という快挙を達成した。（最終順位は第 8 位）  
U-22 東アジア選手権において男子チームが優勝を飾った。
- (2) 女子については、U-20 代表が第 14 回ジュニアアジア選手権において第 3 位となり、世界選手権の出場権を獲得した。また、U-18 代表も第 7 回ユースアジア選手権において第 2 位となり、世界選手権の出場権を獲得した。  
U-22 東アジア選手権において女子チーム（U-20）がカテゴリーの上の相手に対して健闘し、第 3 位となった。
- (3) 強化合宿については当初計画に基づき実施した。

## 9) 強化支援グループ

- (1) 強化企画運営チーム  
池原選手の海外移籍での現地関係者との交渉などをサポートした。  
男子アジア選手権壮行試合の初期企画（案）を作成した。
- (2) 環境企画運営チーム  
情報科学専門委員会と連携して国際情報の収集・管理、スマートシステム・チェルダスを活用してのサポートを継続して実施した。また、次年度からの体力科学専門委員会としてより体力にフォーカスしたサポート体制構築に向けた素案を作成した。
- (3) 広報・マーケティングチーム  
広報委員会およびマーケティング委員会と連携して代表チームの広報活動を実施した。  
11 月以降は全ての支援を広報・マーケティング本部へ移行した。  
強化支援グループによる代表チームへの特化したサポートは、平成 30 年度より強化本部および広報・マーケティング本部体制の中で実施される。

## 10) 分析活動および体力向上策(情報科学委員会)

- (1) 分析サポート
  - ✓ 男子代表については、アジア選手権（1 月）とすべての国内合宿（4 月・7 月・11 月・12 月・1 月）のサポートおよび Sideline を使用しての Playbook 作成を実施した。活動内容としては、大会中はスタッフのリクエストに対する映像編集作業が中心となり、トレーニング中は映像撮影を主な作業として活動した。また、トレーニング中撮影された映像は、Sideline を利用して、スタッフ・選手のコミュニケーションツールとして活用された。
  - ✓ 女子代表については、年間を通して国内合宿・海外遠征および国際試合・大会を含め、すべての活動をサポートした。活動内容としては、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等、多岐に渡り実施した。海外遠征、大会等においては、定量分析・定性分析を行い、相手チームの戦術分析や個々の特徴の整理、自チームの戦術分析等を実施し試合に活用した。

- ✓ これら代表チーム（男・女）の活動内容をベースに、男・女のアンダーカテゴリーチームの全ての国際大会にアナリストを帯同し、自チームと相手チームに対する分析活動を行うとともに、各国の情報収集および情報の蓄積を図った。  
また、アナリストの人材育成としては、若手の登用、スキルアップ、実戦経験、チームスタッフとのコミュニケーション等を目的に、国内開催の国際大会（8月）を活用し、大きな実績を残した。

(2) 体力サポート

体力向上の事業としては、昨年度に引き続き、体力データベースの運用・実施を進めた。体力活動としては、NTS委員会と連携し、NTSブロックトレーニングでの体力測定値のデータ収集・分析を行い、小・中学生の体力レベルの検討を行った。また、トレーナー部会（医事専門委員会）とも連携し、ハンドボール競技における測定項目の検証を実施した。このような活動から、男女全カテゴリーにおけるフィールドテストの測定項目の統一、各年代別の体力基準値の設定、およびその基準値をもとに体力トレーニング目標を設定するためのガイドライン作成を目指す。

11) 医事活動および医科学調査研究(医事専門委員会)

(1) 医事専門医委員会／アンチ・ドーピング特別委員会合同会議

第1回平成29年6月11日（日）味の素ナショナルトレーニングセンター研修室5

出席委員 11名 オブザーバー3名

- ① 2017年度帯同ドクター予定
- ② アンチ・ドーピング関連（検査対象大会における研修会、NFrep派遣について）
- ③ J-SPORTCAR Studyの取り扱いについて
- ④ メディカルガイドライン作成進捗状況報告及び今後の予定
- ⑤ NTSでのメディカルチェックについて
- ⑥ 栄養部門の取り組み
- ⑦ 2020年東京五輪に向けたサポート体制について

第2回平成30年3月25日（日）駒沢体育館会議室

出席委員 12名 オブザーバー3名

- ① 2017年度帯同ドクター報告
- ② アンチ・ドーピング関連（パラドーピング問題についての発出文書など）
- ③ メディカルガイドライン
- ④ トレーナー部会からの報告
- ⑤ マウスガードの取組報告
- ⑥ 各種大会での医事体制について

(2) トレーナー部会ブロック会議

平成29年6月10日（土）味の素ナショナルトレーニングセンター研修室

- ① 日本体育協会アスレティックトレーナー養成講習について
- ② インカレサポートについて
- ③ BASIC7の導入状況と今後について
- ④ ハンドボールトレーナー研修制度について

主にトレーナー研修制度の方向性・内容についての協議およびBASIC7に関する内容の整合性・NTSへの導入状況・今後の発展の方向性について協議しNTS内容策定委員会と連携しBASIC7のブロックとトレーニングへの導入検討、BASIC7+の開発（より競技動作を考慮したプログラム）の方向性について協議し、開発への合意を得た。

研修制度については次回ブロック会議への課題とし、次年度以降の実行課題とした。

- (3) 第4回ハンドボール部会トレーナー総会  
平成29年6月11日(日)味の素ナショナルトレーニングセンター研修室
- ① ナショナルチームにおける情報分析とトレーニングの連携について：佐藤泰吉
  - ② ドーピングコントロールの最新情報：貝沼圭吾
  - ③ インカレ活動報告：山下裕之
  - ④ 沖縄キャラバン活動報告：飯田純一郎
  - ⑤ スポーツにおける膝関節傷害のケーススタディと治療・予防への連携：中田研、小笠原一生  
インカレ・キャラバンの活動状況の報告から各ブロック大会や中高生の活動への導入検討などについて報告。基調講演として大阪大学中田先生・小笠原先生より、臨床現場と競技現場の連携による症例報告や予防措置などについて講義いただき、ハンドボール競技への活用および各トレーナーへの情報提供を行い現場での有用な知識向上を行った。
- (4) 第6回日本ハンドボール学会にて発表
- ① ハンドボールにおけるACL損傷の受傷機序-バスケットボールと比較して-：丸箸兆延、北岡克彦
  - ② 高校男子ハンドボールチームへのメディカルコンディショニングサポートについての実践報告：初莉佳、井本光次郎、佐久間克彦他
  - ③ スポーツ現場で役立つ inverted discoid meniscus segment の病態認識：北岡克彦
- (5) (公財)日本体育協会公認スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー受講者推薦
- (6) 全日本学生選手権(11月 金沢)でのアンチ・ドーピング啓発事業及び栄養調査

## 12) 強化部会

- (1) 男女強化部会長の積極的な現場視察活動により、会議体でのミーティングは実施しなかったものの情報共有出来た。会議室での会議に変えて、男子は第18回男子アジア選手権(韓国)を視察し、アジアの現状と日本の現在位置の確認・共有を図った。また、女子は第23回女子世界選手権の予選リーグを視察し、世界の現状と日本の現在位置の確認・共有を図った。

## 13) 強化育成戦略委員会

- (1) 強化・育成戦略委員会会議
- ① 四半期ごとにチェックする計画であったが、役員改選が大幅に延期となったため第1回目が11月となり、年度末には多くの行事が重なったため新年度に入って開催した。
  - ② 第1回：11月25日(土)日本ハンドボール協会会議室にて実施した。役員改選に伴う組織変更、日本協会組織図での位置づけ、指導普及本部の改組(発掘委員会の設置など)、体力科学委員会の設置を全体議題とし、各部門別にNTS・NTA、国際大会の報告と分析・評価、指導教本製作プロジェクト、IHFコーチコース、若手指導者・運営スタッフの人材バンク、モダンハンドボール検討プロジェクト等についての議論を行った。
- (2) モダンハンドボール検討プロジェクト会議  
強化・指導普及・審判の三者による合同会議を12月23日(土)日本選手権大会時に開催した。IHF審判部の提案した「モダンハンドボール」について、日本での対応について三者で共通の見解を出した。その後、日本選手権女子準決勝を観戦しながら実践確認を行った。なお、本案件については、2月17日(土)開催の「コーチ・レフェリーシンポジウム」にて全国の指導者や審判員でも議論することとした。

## 2. 発掘・育成事業

### 《ナショナルトレーニングシステム (NTS)》

- ① 第1回運営会議  
期日：4月22日(土)・23日(日) 場所：ANTC
- ② ブロックトレーニングシミュレーション  
期日：5月27日(土)・28日(日) 場所：ANTC
- ③ ブロックトレーニング  
期日：8月～9月 場所：全国9ブロック
- ④ センタートレーニングシミュレーション  
期日：11月18日(土)・19日(日) 場所：ANTC
- ⑤ 第2回運営会議  
期日：11月25日(土)・26日(日) 場所：日本協会事務局
- ⑥ センタートレーニング(U-16)  
期日：1月4日(木)～6日(土) 場所：ANTC  
参加者：男子37名、女子35名、スタッフ53名、補助指導者28名
- ⑦ センタートレーニング(U-13)  
期日：1月6日(土)～8日(月) 場所：ANTC  
参加者：男子31名、女子29名、スタッフ57名、補助指導者37名
- ⑧ 第1回指導内容策定会議  
期日：2月10日(土)・11日(日) 場所：ANTC

### 《ナショナルトレーニングアカデミー (NTA)》

- ① 第1回育成合宿  
期日：6月15日(木)～18日(日) 場所：ANTC  
参加者：選手68名
- ② 第1回大会視察(全国小学生大会)  
期日：8月3日(木)～6日(日) 場所：京都府京田辺市
- ③ 第2回大会視察(全国高校選手権大会)  
期日：8月4日(金)～10日(木) 場所：福島県福島市
- ④ 第3回大会視察(全国中学生クラブチームカップ)  
期日：8月13日(日)～15日(火) 場所：大阪府堺市
- ⑤ 第4回大会視察・選考(全国中学校大会)  
期日：8月17日(木)～20日(日) 場所：沖縄県豊見城市
- ⑥ 第2回育成合宿  
期日：11月30日(木)～12月3日(日) 場所：ANTC  
参加者：選手80名
- ⑦ 第5回大会視察・選考(JOCカップ)  
期日：12月23日(土)～27日(水) 場所：沖縄県浦添市
- ⑧ 第3回育成合宿(特化プログラム)  
期日：2月8日(木)～12日(月) 場所：ANTC  
参加者：選手90名

### 《ナショナルトレーニングキャラバン (NCa)》

- ① 第1回キャラバン長崎  
期日：1月20日(土)・21日(日) 場所：長崎県長崎市  
参加者：選手122名、スタッフ29名、保護者30名
- ② 第2回キャラバン宮城  
期日：1月27日(土)・28日(日) 場所：宮城県仙台市  
参加者：選手42名、スタッフ36名、保護者45名

### 3. 普及指導に関する事業

#### <指導部>

##### 1) 指導者組織・資格関連

- ① 公認コーチ養成講習会専門科目講習会  
期日：6月23日（金）～26日（月） 場所：茨城県つくば市 受講者：23名
- ② 公認コーチ養成講習会免除適応コース専門科目検定試験  
期日：2月2日（金）～4日（日） 場所：茨城県つくば市 受講者：27名
- ③ 公認指導員養成講習会  
実施都道府県：青森県・埼玉県・富山県・静岡県・愛知県・鹿児島県
- ④ 指導委員会全国研修会（日体協指導者資格義務研修）  
期日：2月17日（土）～18日（日） 場所：東京都文京区 受講者：25名

##### 2) 指導者講習会関連

- ① コーチ・レフェリーシンポジウム  
期日：2月17日（土） 場所：東京都文京区 参加者：95名

##### 3) テクニカル・情報発信関連

- ① 全国大会映像配信  
実施大会：全国小学生大会（8月）・JOCジュニアオリンピックカップ（12月）・春の全国中学生選手権大会（3月）
- ② テクニカル・レポート作成  
対象大会：女子世界選手権大会（12月）・男子アジア選手権大会（1月）
- ③ 小学生用イヤーズブック作成  
全国で活動している小学生全員に配布

##### 4) N T S 関連

- ① ブロックトレーニングシミュレーションにおけるインストラクター研修  
期日：5月27日（土） 場所：ANTC
- ② ブロックトレーニング引率指導者講習会（日体協指導者資格義務研修）  
期日：8月～9月
- ③ センタートレーニングシミュレーションにおけるインストラクター研修（日体協指導者資格義務研修）  
期日：11月18日（土） 場所：ANTC

#### <普及部>

##### 《学校体育専門委員会》

- 1) スポーツ庁訪問  
期日：4月14日（金） 場所：スポーツ庁・政策課
- 2) 第1回学校体育専門委員会  
期日：4月15日（土） 場所：日本協会事務局
- 3) 第2回学校体育専門委員会  
期日：7月30日（日） 場所：岩手県盛岡市
- 4) 第20回ハンドボール研究集会  
期日：7月31日（月）・8月1日（火） 場所：岩手県盛岡市 参加者：58名
- 5) 第3回学校体育専門委員会  
期日：3月3日（土） 場所：東京都葛飾区

##### 《マスターズ専門委員会》

- 1) 第1回マスターズ専門委員会  
期日：8月11日（金） 場所：愛知県豊田市

- 2) 第25回全日本マスターズ大会(交流型・11人制)  
期日:8月11日(金)~13日(日) 場所:愛知県豊田市
- 3) 第1回全日本マスターズ大会(順位決定型)  
期日:8月11日(金)~13日(日) 場所:東京都八王子市
- 4) 第1回全日本マスターズ大会(シニア)  
期日:11月17日(金)~19日(日) 場所:愛知県豊田市
- 5) 第2回マスターズ専門委員会  
期日:3月4日(日) 場所:山梨県塩山市

《ビーチ専門委員会》

- 1) ビーチハンド初心者講習会  
期日:8月24日(木) 場所:兵庫県神戸市
- 2) 第1回ビーチ専門委員会  
期日:8月25日(金) 場所:兵庫県神戸市
- 3) 第19回全日本ビーチハンド選手権大会  
期日:8月25日(金)・27日(土) 場所:兵庫県神戸市
- 4) 第2回ビーチ専門委員会(ワーキンググループ)  
期日:1月8日(月) 場所:ANTC

《キャリアサポート専門委員会》

- 1) 被災地支援事業-指導者育成プロジェクト  
期日:3月25日(土)・26日(日) 場所:宮城県仙台市

《車椅子専門委員会》

- 1) 第1回車椅子委員会  
期日:11月11日(土) 場所:京都府京田辺市
- 2) 第15回日本車椅子競技大会  
期日:11月11日(土)・12日(日) 場所:京都府京田辺市

<育成部>

《小学生専門委員会》

- 1) 第1回小学生専門委員会  
期日:5月13日(土)・14日(日) 場所:ANTC
- 2) 第2回小学生専門委員会  
期日:8月3日(木) 場所:京都府京田辺市
- 3) 第30回全国小学生大会  
期日:8月3日(木)~6日(日) 場所:京都府京田辺市
- 4) 第9回日韓小学生交流事業(受入)  
期日:8月11日(金)~15日(火) 場所:長崎県佐世保市
- 5) 第5回全国U-12指導者研修会  
期日:10月14日(土)・15日(日) 場所:ANTC
- 6) 第3回小学生専門委員会  
期日:10月15日(日) 場所:ANTC
- 7) 第4回小学生専門委員会  
期日:1月13日(土)・14日(日) 場所:ANTC
- 8) 第5回小学生専門委員会(ワーキンググループ)  
期日:1月28日(日) 場所:ANTC

9) ブロック普及推進会議&ブロック大会等視察

北海道：6/24・25、東北：11/4・5、関東：7/22・23、北信越：10/7・8、  
東海：10/28・29、近畿：8/13、中国：10/21・22、四国：1/20・21、  
九州：12/22・23

《中学生専門委員会》

1) 第1回中学生専門委員会

期日：8月16日（水）

場所：沖縄県那覇市

2) 第46回全国中学校大会

期日：8月17日（木）～20日（日）

場所：沖縄県那覇市

3) 第2回中学生専門委員会

期日：12月23日（土）

場所：沖縄県浦添市

4) 第26回JOC大会

期日：12月23日（土）～27日（水）

場所：沖縄県浦添市

5) 第3回中学生専門委員会

期日：3月25日（日）

場所：富山県氷見市

6) 第12回春の全国中学生選手権大会

期日：3月24日（土）～28日（水）

場所；富山県氷見市

#### 4. 競技運営に関する事業

##### 1) 主要大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結果
4月	第14回東アジアクラブ選手権	4/16-19	中国・安徽省合肥市	男子1:斗山2:大崎電気3:山東省 女子1:大邱市庁2:北國銀行3:安徽省
5月	高松宮記念杯第7回全日本社会人選手権大会	5/17-21	福井県営体育館(福井市)他	男子1:大同特殊鋼2:トヨタ車体3:大崎電気 女子1:北國銀行2:ソニー3:三重
6月	東アジアU-22選手権大会	6/26-7/2	岩手県花巻市総合体育館	男子1:日本2:韓国3:チャイニーズタイペイ 女子1:韓国2:中国3:日本
7月	第37回全国クラブ選手権西地区	7/1,2	徳島・アミノバリューホール他	男子1:SFIDA山口2:B.I.C3:中央クラブ、熊本教員クラブ 女子1:EHC2:ninfa-kagoshima3:香川レヒース、HC長崎
	第37回全国クラブ選手権東地区	7/15,16	静岡県小笠山総合運動公園エコパアリーナ	男子1:渡辺組2:土浦三校クラブ3:エルムクラブ 女子1:オレンジクラブ2:wao3:サンライズひのき接骨院鍼灸院ハンドボールクラブ
	第37回全国クラブ選手権中地区	7/29,30	秋田県湯沢市総合体育館他	男子1:D.B.C2:ハンドボールライフ3:HC奈良 女子1:GET <sup>TM</sup> S2:大阪教員3:cheeky
8月	熊本地震復興支援女子ハンドボール国際大会 JAPAN CUP 2017	8/3-6	熊本県・ウイングまつばせ、人吉スポーツパレス、山鹿市総合体育館	1:日本2:ポーランド3:JHL選抜
	第30回全国小学生大会	8/3-6	京田辺市田辺中央体育館他	男子1:桃園HC2:小金井HC3:北リンク電力ジュニアブルーロケッツ・能美ジュニアHC 女子1:十三ジュニアHC2:コザクラブ Jr. HC3:三郷HC・群馬ジュニアHC
	高松宮記念杯第68回全日本高校選手権大会	8/4-10	県営あづま総合体育館他	男子1:法政大二高2:県立氷見高3:北陸高・府立洛北高 女子1:校成学園女子高2:高水高3:県立不来方高・県立水海道二高
	第22回ジャパンオープントーナメント福井国体リハーサル大会	8/6-9	福井県営体育館他	男子1:HC和歌山2:フレッサ福岡3:HONDA 女子1:香川銀行T・H2:JJGANG3:HC和歌山
	第25回全日本マスターズ大会	8/11-13	豊橋市総合体育館他	男子:IMPAL with T、女子:NEWフェイス
	第8回全国中学生クラブチームカップ	8/13-15	大阪府堺市金岡公園体育館他	男子1:広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブ2:大阪RSC3:ヴァルト岐阜 女子1:大阪ジュニアクラブ2:霧島クラブ3:貝塚バーディーズ
	第46回全国中学校大会	8/17-20	沖縄県立武道館他	男子1:滝ノ水中2:甲田中3:松橋中・神森中 女子1:原川中2:住吉一中3:東久留米西中・神森中
	第44回全国高等専門学校選手権大会	8/26,27	東京都エスフォルタアリーナ八王子	男子1:豊田高専2:明石高専3:北九州高専・金沢高専
	第19回全日本ビーチハンドボール選手権大会	8/26,27	神戸アジュール舞子浜	男子1:BBJ2:東海Weeds!3:ABG2017 女子1:SHINE2:日本体育大学3:東海Weeds!

10月	第72回国民体育大会	10/5-9	愛媛県西条市総合体育館他	成年男子 1; 埼玉県 2; 愛知県 3; 宮城県 成年女子 1; 石川県 2; 熊本県 3; 広島県 少年男子 1; 神奈川県 2; 千葉県 3; 福井県 少年女子 1; 愛知県 2; 沖縄県 3; 富山県
11月	文部科学大臣杯第15回車椅子競技大会	11/11, 12	京都府田辺中央体育館	1; すわろーず 2; 宮城フェニックス 3; 藍野大学TOPS-Liberte
	高松宮記念杯男子第60回女子第53回全日本学生選手権大会	11/4-8	いしかわ総合スポーツセンター	男子 1; 国土館大 2; 筑波大 3; 大同大、日本大 女子 1; 大阪体育大 2; 大阪教育大 3; 東京女子体育大、筑波大
12月	第69回日本選手権大会	12/19-24	大阪市中央体育館他	男子 1; 大崎電気 2; トヨタ車体 3; 湧永製薬・トヨタ自動車東日本 女子 1; オムロン 2; 北國銀行 3; 三重バイオレットアイリス・広島メイプルレッズ
	第26回JOCジュニアオリンピックカップ	12/23-27	浦添市民体育館他	男子 1; 愛知県選抜 2; 広島県選抜 3; 埼玉県選抜・茨城県選抜 女子 1; 大分県選抜 2; 沖縄県選抜 3; 東京都選抜・大阪府選抜
3月	全日本社会人チャレンジ2018	3/2-4	総社市総合体育館	
	第41回日本リーグプレーオフ	3/23-25	駒沢体育館	男子 1; 大崎電気 2; トヨタ車体 3. 大同特殊鋼 4; 豊田合成 女子 1; 北國銀行 2; 広島メイプルレッズ 3; ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 4; 三重バイオレットアイリス
	第41回全国高等学校選抜大会	3/24-29	グリーンアリーナ神戸他	男子 1; 県立氷見高 2; 駿台甲府高 3; 県立大分雄城台高・大阪体育大学浪商高 女子 1; 大分高 2; 県立浦添高 3; 名古屋経済大学市邨高・高水高
	第13回春の全国中学生選手権大会	3/24-28	氷見市ふれあいスポーツセンター他	男子 1; 神森中 2; 霧島クラブ 3; 西中原中・氷見北部中 女子 1; 美東中 2; 三郷北中 3; 扇台中、霧島クラブ

## 2) その他の事業

- (1) 日本協会主催大会（ジャパンオープン、国体、日本選手権、春中）、共催大会（社会人選手権）の管理運営にあたった。
- (2) 平成 29 年度チーム・選手・チーム役員登録業務を遂行した。
- (3) JHAオフィシャル・テクニカルデレゲートの任務を発行し、業務に関する周知を図った。また、平成 30 年度版について、改訂版を発行すべく、内容の見直しを行った。
- (4) 競技役員資質向上のため、講習会を開催した。  
10月 愛媛県松山市：国体  
3月 富山県氷見：春中
- (5) 1月 第78回国民体育大会(平成35年度)正規視察(佐賀県)を実施した。
- (6) 2月 競技運営連絡協議会(東京)を開催した。
- (7) 2月から3月

東京オリンピック競技役員養成研修会を全国6か所で実施した。また、東京会場では審判委員会と協働で国際ハンドボール連盟PRCメンバーのモニカ・ハーゲン氏を招き、競技役員並びに審判員研修会を実施した。

- 2月24日(土) 東海ブロック競技役員・ボランティア養成研修会(愛知県・枇杷島SC)
- 関西ブロック競技役員・ボランティア養成研修会(大阪府・大阪経済大学)

- 2月 25日(日) 九州ブロック競技役員・ボランティア養成研修会 (沖縄県・琉球大学)
- 3月 4日(土) 中国ブロック競技役員・ボランティア養成研修会 (広島県・広島経済大学)
- 18日(日) 九州ブロック競技役員・ボランティア養成研修会 (熊本県・ホテルオークラ熊本)
- 23日(金) 日本協会役員向け競技養成研修会 (東京・渋谷区)  
国際審判員研修会 (東京・駒沢)
- 24日(土) 関東ブロック競技役員・国際審判員研修会 (東京・駒沢)
- 25日(日) 国際審判員研修会 (東京・駒沢)

## 5. 競技規則（審判）に関する事業

### 1) 主な事業 *（斜体は国際大会）*

月	事業名	開催日程	開催地	概要及び実績
4月	第1回競技規則研究委員会・審判指導に関する小委員会合同会議	4/9	東京都世田谷区	出席者：委員6名、競技本部長、審判部長 レフェリー研修会打合わせ、競技規則変更について
	第14回東アジアクラブ選手権大会	4/16～19	中国・安徽省	TD：仲田 稔 レフェリー：田淵元雄 白井 健を派遣
	第1回審判委員会	4/23	東京都目黒区	出席者：正副審判委員長、審判総務 上半期事業の確認
5月	審査指導委員会・ブロック審判長会議	5/13～14	愛知県知立市他	出席者：審査指導委員8名、ブロック審判長6名、 競技規則研究専門委員長 A/B級審査会打合わせおよび審査基準の統一他
6月	A/B級公認審判員審査会〔関東地区〕	6/23～25	茨城県	受験者A級15名 B級19名 審査担当 8名を派遣
	全日本大会担当レフェリー研修会	6/24・25	東京都北区	受講者：132名、運営スタッフ：7名 ※兼 JHLレフェリー研修会
	第5回東アジアU-22選手権大会	6/26～7/2	岩手県花巻市	TD：仲田 稔 レフェリー 太田智子・古川英樹、 村田哲郎・明木 源 を派遣
7月	A/B級公認審判員審査会〔西地区〕	6/30～7/2	徳島県徳島市	受験者A級24名・B級11名 審査担当 8名を派遣
	A/B級公認審判員審査会〔東地区〕	7/14～16	秋田県湯沢市	受験者A級2名・B級5名 審査担当 名を派遣
	第14回女子アジアジュニア選手権	7/15～7/23	香港	レフェリー 白井 健、河合威延 を派遣
	A/B級公認審判員審査会〔中地区〕	7/28～7/30	静岡県袋井市	受験者A級9名・B級13名 審査担当4名を派遣
8月	第7回男子ユース世界選手権	8/8～8/20	ジョージア・トビリシ	レフェリー 池淵智一、檜崎 潔 を派遣
	第7回女子ユースアジア選手権	8/20～8/28	インドネシア・ジャカルタ	TD：仲田 稔 レフェリー：太田智子、島尻真理子 を派遣
10月	第1回レフェリーアカデミー	10/13～15	福岡県宗像市	受講者9名、指導者2名
11月	第2回アジアビーチ選手権	11/1～6	フィリピン・デウマガテ	TDとして 仲田 稔 を派遣
12月	第23回女子世界選手権	12/1～17	ドイツ・ハンブルク 他	レフェリー 池淵智一、檜崎 潔 を派遣
	第2回強化・育成戦略委員会	12/23	大阪府	競技本部長、審判委員長、国際審判員参加 日本選手権準決勝を観戦しながら意見交換
	第2回競技規則研究専門委員会	12/23～24	大阪府	審判委員長、競技規則研究委員長、競技規則研究委員、 指導委員会委員 計7名
	第2回レフェリーアカデミー	12/27～29	大分県大分市	受講者5名、指導者3名

1月	MTS センタートレーニング	1/6・8	東京都北区	1/6 レフェリー：本田 昭太 を派遣 1/8 レフェリー：島尻真理子 を派遣
	第2回審判委員会	1/14	東京都北区	出席者：競技本部長，審判委員長，各委員会委員長， および委員、計 10 名
	第18回男子アジア選手権	1/18～1/28	韓国・水原市他	レフェリー：池淵智一、檜崎 潔 を派遣
	平成 29 年度 審判合同委員会	1/27・28	東京都北区	出席者：競技本部長，審判委員長・各ブロックおよび 連盟審判長，審判部各専門委員会委員長，小学生 委員会担当者 計 20 名 平成 29 年度活動の総括，平成 30 年度活動内容の 検討・確認他。
2月	社会人連盟レフェリー コース（B級審査会）	—		※本年度は該当者なし
	平成 29 年度コーチ・ レフェリー研修会	2/17	東京都文京区 筑波大学東京 C	指導委員 本田昭太 を派遣（予定）
	第3回 レフェリーアカデミー	2/23～25	愛知県豊田市	受講者 11 名，指導者 4 名（予定）
3月	トップレフェリー研修会	3/25・26	東京都世田谷区	JHL プレーオフに合わせてトップレフェリー講習会 を開催 プレーオフレフェリーを対象

## 2) その他の事業

- (1) 文書の発送受付ならびに各種登録・その他諸手続き（総務専門委員会）
- (2) 審判研修用資料の企画・製作（審査指導専門委員会，競技規則研究専門委員会，視聴覚専門委員会）
- (3) 各全日本大会における審判技術の実態把握（審判部長・副部長，連盟審判長）
- (4) 国際情報収集と競技規則書他の企画・作成（国際専門委員会，競技規則研究専門委員会）
- (5) 他委員会などとの連携強化（審判部長・副部長，日本リーグ審判専門委員会）

## 3) A/B級公認審判員審査結果

	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	A 級	B 級	A 級	B 級	A 級	B 級
審査申請者	28 名	75 名	41 名	86 名	54 名	53 名
書類不備	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
欠席	2 名	6 名	2 名	10 名	6 名	3 名
筆記試験不合格	0 名	3 名	4 名	3 名	3 名	6 名
実技試験不合格	8 名	18 名	8 名	8 名	15 名	8 名
体力試験不合格	2 名		2 名		3 名	1 名
合格者	17 名	49 名	30 名	66 名	32 名	35 名

※平成 29 年度 A 級：実技・体力・筆記不合格 1 名，筆記・実技ともに不合格 2 名  
実技・体力ともに不合格 1 名  
B 級：筆記・実技ともに不合格 1 名

4) 公認審判員登録状況 ( )内は女性

級	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
終 身	93 名( 0 名)	91 名 ( 1 名)	82 名 ( 0 名)
国 際	12 名( 2 名)	12 名 ( 2 名)	12 名 ( 2 名)
A 級	320 名( 15 名)	318 名 ( 13 名)	328 名 ( 17 名)
B 級	438 名( 23 名)	438 名 ( 26 名)	449 名 ( 28 名)
C 級	844 名(120 名)	894 名 (123 名)	871 名 (129 名)
D 級	1814 名 (422 名)	1645 名 (348 名)	1625 名 (351 名)
計	3521 名(582 名)	3398 名 (513 名)	3367 名 (527 名)

※平成 29 年 12 月 17 日現在

## 6. 総務に関する事業

### 1) 諸会議を下記のように開催した

- (1) 評議員会 6月24日(東京)、10月22日(臨時・東京)
- (2) 理事会 4月8日(東京)、6月10日(東京)、7月8日(臨時・東京)、  
7月30日(臨時・東京)、9月9日(臨時・東京)、10月14日(臨時・東京)、  
11月25日(臨時・東京)、2月17日(東京)
- (3) 常務理事会 5月13日(東京)、11月18日(東京)、1月14日(東京)、3月10日(東京)  
3月12日(東京)
- (4) 全国理事長会議 2月18日(東京)  
担当常務理事より主な実施事業について報告が行われ、意見交換を行った。

### 2) 事務局長を公募により採用

### 3) 組織の変更

- (1) コンプライアンス強化の観点より一部機能をコンプライアンス委員会に移行した上で、ガバナンス室を事業計画推進室に変更。

### 4) 諸規程の整備

- (1) ガバナンス強化の一環として改定作業を継続中

## 7. 広報に関する事業

### 1) 広報

#### (1) 主な広報活動

- ①定期記者発表 2回(日本リーグ、日本リーグプレーオフ)
  - ②臨時記者発表 4回  
(7月25日・ヤマト運輸協賛契約、11月13日・女子代表世界選手権、  
1月10日・男子アジア選手権、3月28日・JAPAN CUP & 男子代表愛称募集)
  - ③代表合宿メディア公開 2回
  - ④ハンドボールサロン開催 5回 (4, 5, 6, 12, 2月)
  - ⑤プレスリリース(メールリリースも含め)
- (男女日本代表情報、各カテゴリー国際大会、国内大会、2019女子世界選手権他)
- (2) マスコミ(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ライター他)の取材調整
  - (3) 2019年女子世界選手権熊本大会 PR 事業 (3月4日・東京スカイツリー)
  - (4) TVによる試合放映 (7月29日・日韓定期戦・インターネット中継、  
12月24日・日本選手権男子決勝・NHK Eテレ、  
3月23~25日・JHL プレーオフ全6試合・J-Sports)
  - (5) TVへの選手出演 (1月26日・部井久アダム勇樹選手・RKB 毎日放送  
2月25日・池原綾香選手・BSNHK) など
  - (6) ラジオへの選手出演 (1月17日・原希美選手・J-wave) など
  - (7) 新聞への選手取材 (12月9~11日・永田しおり選手・日本経済新聞) など
  - (8) 雑誌への監督取材 (1月18日・ダグルシングルドソン監督・Graphic Number) など
  - (9) その他、関係者取材(湧永会長・中国新聞、医薬経済、スポーツイベント) など
  - (10) 日韓定期戦、女子世界選手権の映像著作権取得

### 2) インターネット

#### (1) 協会HPを利用した情報発信

- ①更新頻度の増加 (facebookを含む)
  - ②コンテンツの充実(「我らハンドボール応援団」など)
- (2) 機関誌を紙媒体からネット掲載に移行
  - (3) WEB情報サポート企業との積極的な情報交換
  - (4) インターネット(フェイスブック)を利用した情報の発信を図った

### 3) 機関誌

- (1) 施策方針・理事会・各委員会組織からの情報発信として、事業計画、医事委員会、審判委員会、指導委員会などからの方針や報告を適宜掲載した。
- (2) 日本協会HPで掲載されている大会の戦評およびスコアを有効に利用し、相互の情報連携を図った。
- (3) 大会報告記事については、大会事務方に依頼し様々な大会周辺の情報まで掲載できた。
- (4) 年間12回の毎月発行を計画通りに実施した。
- (5) 29年度より計画通りに機関誌の印刷を取りやめ、協会HPでの掲載とした。

## 8. 財務・会計に関する事項

平成 29 年度は、収入面においては、マーケティング収入や参加料収入等の事業収入が 243,574 千円と前年度比 65,644 千円増加。また受取補助金等も 206,409 千円と前年比 25,807 千円増加したこともあり、事業活動収入は前年度比 87,360 千円増加の 850,184 千円となった。

支出面においては、外国人代表監督の謝金や強化事業数の増加により事業費支出は 712,488 千円と前年度比 153,023 千円増加。管理費支出は、臨時理事会等の役員参加会議増加による旅費交通費の増加、第三者委員会・特別倫理委員会開催に伴う弁護士費用等の諸謝金の増加等により 133,358 千円と前年比 14,382 千円の増加となり、事業活動支出全体では 167,581 千円増加の 846,021 千円となった。その結果、事業活動収支差額は 80,226 千円減少の 4,093 千円となった。

特定資産取崩収入として日本協会主催国際大会積立金、平成 29 年度のアジア・世界選手権出場積立金、欧州遠征費用積立金 88,964 千円を取崩し、特定費用準備資金として 2019 年女子世界選手権積立金や次年度アジア世界大会出場積立金、欧州遠征費用積立金等 90,964 千円積立てたことにより、当期収支差額は 2,093 千円、次期繰越収支差額は 35,465 千円となった。

## 9. 国際に関する事業

### 1) 日本代表チーム・役員・レフェリー等の派遣及び海外チーム招聘等に関する事業

日程	カテゴリー/参加者	大会名称	開催地
4 月	男女リーグ代表チーム	第 14 回東アジアクラブ選手権	中国・安徽省
	役員	EAHF会議	同上
6 月	女子代表	欧州遠征	デンマーク、ノルウェー
	男女 U-22	第 5 回東アジア(U-22)選手権	宮城県・花巻市
	役員	EAHF会議	同上
7 月	女子ジュニア U-20	女子ジュニアアジア選手権	香港
	男女代表	日韓定期戦 2017	東京都
8 月	男子代表	欧州遠征	アイスランド・レイキャビク
	男女代表	熊本復興支援 JAPAN CUP 2017	熊本県・宇城市、人吉市、山鹿市
	男女小学生(U-12)	第 8 回日韓小学生交流	長崎県・佐世保市
	男女高校生	日韓中ジュニア交流協議会	茨城県
	男子ユース U-19	男子ユース世界選手権	ジョージア・トビリシ
	女子 U-18	女子ユースアジア選手権	インドネシア・ジャカルタ
9 月	男女 U-16	日韓スポーツ交流(派遣)	韓国・済州市
10 月	女子 U-16	日韓スポーツ交流(受入)	佐賀県・神埼市
	男子 U-16	日韓スポーツ交流(受入)	沖縄県・八重瀬町
11 月	女子代表	欧州遠征	スペイン・メリヤ、オランダ・アムステルダム
1 月	男子代表	男子アジア選手権	韓国・水原市
	男子代表	バーレーン親善試合	東京都・立川市
3 月		IHFナショナルチームコーチコース	東京都・北区

## 2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

### (1) IHF関係

- ① 第11回IHF理事会（ジョージア、トビリシ）
- ② 第12回IHF理事会（トルコ、アンタルヤ）
- ③ IHF理事会などの議事内容の翻訳作業を実施した。
- ④ 各種大会や役員・レフェリー派遣業務の連絡調整を実施した。
- ⑤ IHFに関する事務的なエントリー手続き・諸連絡を実施した。

### (2) AHF関係

- ① テクニカルデレゲートならびにレフェリーの派遣に関する手続きを実施した。
- ② 各カテゴリーのアジア選手権参加のサポートを実施した。
- ③ AHF会議議題・議事録の翻訳作業を実施した。

### (3) EAHF関係

- ① 4月EAHF会議（中国、合肥）
- ② 7月EAHF会議（宮城県、花巻市）
- ③ EAHF会議議題・議事録の翻訳作業を実施した。
- ④ EAHFに関する諸連絡を実施した。

## 3) その他の事業

- (1) 国際競技力向上を目的とし、全ての国際大会への手続きを、事務局の国際対応機能を中心として対応した。
  - 出場権を得た全ての大会にチームを滞りなく派遣することができたほか、関連する諸外国等機関との連携強化を図ることができた。
- (2) IHF、AHF および諸外国との関係強化および連携を目的とし、IHF/AHF 総会等へ出席した。
  - 国際的動静を把握し、各国際交渉の素地の形成に向けた機能強化が図れた。
- (3) IHF 国際コーチコースの受け入れ・運営を担当した。
  - 高い国際的信頼を得るとともに、次回以降の国際行事受け入れの期待感を得られた。
- (4) 上記コースへの対応に伴い、IHF 役員への対応とディスカッション機会を得て、IHF との具体的な連携強化について合議した。
  - 男子世界選手権ワイルドカード獲得に向けた布石を築くことができた。
  - 熊本開催の世界選手権に向けた、関連行事等への協力体制ビジョンが共有できた。
  - 東京オリンピックパラリンピックに向けた、関連行事等への協力体制ビジョンが共有できた。
- (5) JOC 各種ミーティングに参加し、国際力強化を図った。
  - 各 NF との連携強化を確認し、東京オリンピックパラリンピックへの協力体制を中心とし、国際力向上の機能強化を推進できた。

## 10. 事業企画に関する事業

- 1) 「第5回東アジアU-22ハンドボール選手権(男・女)」(6月26日-7月2日)を開催。
- 2) 「ハンドボール日韓戦2017」(7月29日)を開催。
- 3) 「インターナショナルマッチ(アジア選手権壮行試合)」(1月13日)を開催。
- 4) 「第69回(第3回)日本ハンドボール選手権大会」を実行委員会方式で開催。
- 5) 第17回女子アジア選手権を平成30年12月1日から熊本県で開催することが決定。
- 6) 「JAPAN CUP 2018」を男子はドイツを招聘し徳島と東京で、女子はポーランドを招聘し高崎で、いずれも6月に開催することが決定。

## 11. マーケティングに関する事業

- 1) 2018年度のマーケティング収入は、予算100,000千円に対して、実績104,476千円
- 2) 協賛社の新規獲得・契約更新など
  - (1) 新協賛カテゴリー「オフィシャル・パートナー」としてのヤマト運輸の新規獲得
  - (2) 「オフィシャル・スポンサー」2社(全日本空輸・アシックス)の契約更新
  - (3) 「オフィシャル・スポンサー」2社(湧永製薬・ユリカ)の契約整備(継続中)
- 3) JHL加盟企業チームからの特別強化支援金の使途説明
  - (1) 報告書の整備
  - (2) GM説明会の開催(3月19日、30日)
- 4) マーケティング収入増加のための、新プログラム導入(JHAフレンズ)
- 5) JOCジュニアオリンピックカップ(2018~20年度)の指定旅行会社決定
- 6) 旅行会社登録制度の準備(2018年度より実施)
- 7) 協賛候補社・広告会社・マーケティングサポート会社との積極的な情報交換
- 8) 肖像権規程の策定、選手などのマスコミ出演に関する管理作業の着手

## 12. 日本リーグに関する事業

### 1) 大会運営

- ▶ 全試合無事開催
- ▶ 台風の影響で、1試合観客ゼロ試合を実施（9月17日三重対飛騨高山@AGF 鈴鹿体育館）
- ▶ 観客者数  
 試合数：男 108 試合(+36)、女 108 試合(+44)、男女計 216 試合(+80)  
 総観客者数：男 79,895 人(+20,041)、女 68,507 人(+25,513)、男女計 148,402 人(+45,554)  
 1 試合平均観客数：男 740 人(△91)、女 640 人(△42)、男女計 690 人(△72)

### 2) 協会・リーグ合同で“強化ボード”を構成する

協会の新体制への移行が延期になった期間、開催できず。

- (1) 一旦白紙に戻し、次年度の課題とした。
- (2) 2019 年度・2020 年度の大会日程については、スケジュール部会と強化部にて協議を実施

### 3) GM会ならびにリーグ委員会それぞれの機能・役割を充実させ、リーグの規律向上を図り、リーグの価値を高める。

- (1) GM会開催の準備不足により、本来のあるべき姿が明確にならず、次年度の検討課題とした。

### 4) リーグ法人化の検討

- (1) 次年度への継続検討課題とした。

第42回大会観客者数

#### 男子

チーム	1試合平均			合計			試合数		
	第42回	対前年比	第41回	第42回	対前年比	第41回	第42回	対前年比	第41回
トヨタ自動車東日本	544	-3	547	3,809	1,073	2,736	7	2	5
大崎電気	837	-21	858	5,859	713	5,146	7	1	6
北陸電力	406	-1	407	4,462	1,203	3,259	11	3	8
大同特殊鋼	885	-30	915	7,082	1,591	5,491	8	2	6
トヨタ車体	863	-56	919	7,769	2,254	5,515	9	3	6
豊田合成	577	-136	703	5,774	855	4,919	10	3	7
湧永製菓	511	-147	658	5,105	1,157	3,948	10	4	6
トヨタ紡織九州	842	-69	911	7,576	3,020	4,556	9	4	5
琉球コラソン	1,197	-222	1,419	9,574	-359	9,933	8	1	7
ホーム計	722	-91	813	57,010	11,507	45,503	79	23	56
第3地域	789	-108	897	22,885	8,534	14,351	29	13	16
男子合計	740	-91	831	79,895	20,041	59,854	108	36	72

#### 女子

チーム	1試合平均			合計			試合数		
	第42回	対前年比	第41回	第42回	対前年比	第41回	第42回	対前年比	第41回
プレステージ・インターナショナル アランマーレ	588	-	-	5,296	5,296	-	9	-	-
北國銀行	819	86	733	8,194	3,558	4,636	10	4	6
飛騨高山ブラックブルズ岐阜	485	-235	720	6,783	1,744	5,039	14	7	7
HIC名古屋	476	9	467	5,236	1,497	3,739	11	3	8
三重バイオレットアイリス	830	88	742	7,470	3,020	4,450	9	3	6
大阪ラヴィッツ	908	-	-	7,266	7,266	-	8	-	-
広島メイプルレッズ	511	-73	584	6,131	871	5,260	12	3	9
オムロンピンディーズ	890	-179	1,069	7,120	-366	7,486	8	1	7
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	565	0	565	3,957	1,132	2,825	7	2	5
ホーム計	653	-44	697	57,453	24,018	33,435	88	40	48
第3地域	582	-55	637	11,054	1,495	9,559	19	4	15
女子合計	640	-42	682	68,507	25,513	42,994	107	44	63

	1試合平均			合計			試合数		
	第42回	対前年比	第41回	第42回	対前年比	第41回	第42回	対前年比	第41回
男女合計	690	-72	762	148,402	45,554	102,848	215	80	135

\* 女子ホームゲーム1試合台風による無観客試合は試合数に含んでいません。実際の試合数合計は216試合。

### 1 3. 「がんばれハンドボール 20 万人会」 サポート会に関する事業

#### 1) 平成 29 年度サポート会員総数（平成 30 年 3 月 31 日現在（カッコ内は前年比）

特別会員	1 名	（ ±0）
グランド会員	187 名	（ ▲1）
フレンド会員（旧ファミリー会員）	33 名	（ ▲12）
ジュニア会員	7 名	（ ▲39）
都道府県フレンド会員（旧都道府県ファミリー会員）	174 名	（▲190）
都道府県グループ会員	10,066 名	（+147）
総数	10,318 名	（ ▲89）

#### 2) 推進活動

- （1）平成 29 年 4 月 1 日より会員種別及び特典の一部を変更
- （2）都道府県グループ会員入会の促進

#### 3) 事務局

- （1）毎月の入会・更新作業

### 1 4. 東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト

#### 1) 競技役員・競技ボランティア育成研修会実施

- ▶ 講師：IHF 競技・規則・審判委員会委員 モニカ・ハーゲン女史  
東京 2020 組織委員会ハンドボール・スポーツマネージャー
- ▶ 場所：東京、愛知、大阪、広島、熊本等全国キャラバンとして開催（全 9 回）

#### 2) IHF 会議・視察への対応

- 東京オリンピック準備状況確認のための第 2 回の来日対応
- ▶ 日程：2017 年 2 月 20 日（火）～22 日（木）
  - ▶ 東京オリンピック競技会場及び IHF 候補ホテル等の視察対応

#### 3) 2017 年女子ハンドボール世界選手権視察

- ▶ 東京オリンピックにおいて導入が検討されているタイミング・スコアリングシステムの運用視察。
- ▶ 競技会場運営及び競技運営、スポーツプレゼンテーション等の視察を実施。

#### 4) ハンドボール競技運営組織案の立案及び各担当マネージャーの検討実施

- ▶ 2017 年 4 月より、東京 2020 組織委員会ハンドボール・スポーツマネージャー常勤化。
- ▶ ハンドボール競技運営組織案を立案し、競技運営人員及びボランティア配置の検討を開始。

#### 5) 競技ボランティア募集に向けた関係団体との調整

- ▶ 全日本学生ハンドボール連盟会議及び関東学生ハンドボール連盟会議において、東京 2020 組織委員会の大会ボランティア募集概要、競技ボランティアの活動事例等を説明し、今後の連携に関して協議を開始した。

## 15. 2019 世界女子選手権プロジェクト

- 1) JHA と熊本とのタイアップ。
  - 実施計画策定専門委員会の立ち上げ。(JHA・KHA・熊本県&市・八代市・山鹿市ほか)
- 2) JHA・熊本県国際スポーツ大会推進事務局との情報交換会の実施。
- 3) JAPAN CUP2017」(8/3～6)を開催。※6日最終日は台風の接近の為中止。
- 4) 12月第23回女子世界選手権の視察実施。
  - 視察…大会の準備状況・開会式・予選リーグ・決勝トーナメント・プレジデントカップ・閉会式・各種パーティーに加え、輸送・宿泊・警備などの大会運営全般に関する調査を実施。
  - PR活動…ブース設置・プログラムへの広告掲載・誘客チラシの配布
  - 引継式…ドイツ協会～IHF～JHA&KHA → IHF 旗を引継ぎ。公募により決定した大会キャッチフレーズを公表。終了後に記者会見を実施し、日本(熊本)大会をPR実施。

〈大会PR活動〉

  - ・大会キャッチフレーズ決定。
  - ・都市装飾(熊本駅新幹線口・熊本駅前階段)
  - ・熊本ハンドボールのあゆみパネル展。(パネル展に仕立て、県内全体を巡回。)
  - ・大会ホームページの開設。
  - ・各種イベントでのPR(くまもと復光祭・地域振興フェア・2年前イベント  
・・・日本選手権・・・Bリーグオールスター戦など)
- 5) IHF 視察(2/15～20)  
スローオフミーティング～視察(会場・宿舎・輸送・警備ほか)～総括ミーティング  
IHF 視察員…Per BERTELSEN (COC 委員長)・Pedja Pavicevic (COC メンバー)

## 16. ガバナンスに関する事業

- 1) 「ガバナンス室」の役割見直し  
事業計画の進捗を検証する役割を明確にし、副会長が指揮を執る「事業計画推進室」に変更。
- 2) コンプライアンス体制の強化  
不正行為等に対処・牽制機能を担うコンプライアンス委員会の実効性を高めるため、コンプライアンス規定を見直し、懲戒処分を適正に行うための倫理委員会規程を新設。また2018年2月には「コンプライアンス宣言」を採択し、対外的に発信。

## 17. アスリート委員会

- 1) 平成29年度実績

日程	実施事項	備考
11月	アスリート委員会設置に関する準備開始	日本スポーツ法学会
12月	アスリート委員会調査実施	日本スポーツ法学会
1月	委員会設置協議開始	
2月	委員会設置協議	

## 18. 女性アスリート支援に関する事業

- 1) 国内で国際大会を開催し、ターゲット世代の重点強化選手に対する実践機会を提供

【大会名】 おりひめトライアルゲームズ  
【期間】 平成29年 8月7日～14日  
【開催地】 熊本県 オムロン鹿陽センター、  
大分県 大分県立総合体育館  
【参加国】 ポーランド、アンゴラ、日本  
【教育プログラム】 女性アスリートスポーツ医科学に関する講義

- 2) 強化関係者、国内チーム指導者に対して、育成環境整備に向けた学びの場を設定

【イベント名】 N c a (ナショナルトレーニングキャラバン)  
【期間】 平成30年 1月20日～21日  
【開催地】 長崎県瓊浦高校 小学生男女57名うち女子対象に実施  
【テーマ】 女性アスリート向け講義  
成長期の女性特有の兆候等  
【講師】 国立スポーツ科学センター 土肥美智子先生

## 19. 日本選手権に関する事業

- 1) 日本選手権の開催

「第69回日本ハンドボール選手権大会」(12月19日-24日)を大阪ハンドボール協会、京都府ハンドボール協会、奈良県ハンドボール協会と協力し、実行委員会方式にて開催。

【会場】 大阪府・大阪市中央体育館、八尾市立総合体育館、  
京都府・田辺中央体育館、奈良県・生駒市民体育館  
【試合結果】 男子 1位：大崎電気、2位：トヨタ車体、  
3位：湧永製薬、トヨタ自動車東日本  
女子 1位：オムロン、2位：北國銀行、  
3位：広島メイプルレッズ、三重バイオレットアイリス

## 20. 国際大会に関する事業

- 1) Japan Cup 2017 THW キール招待国際試合  
開催予定を7月17日、19日、22日としていたが、諸般の事情により中止となった。
- 2) 第5回東アジアU-22ハンドボール選手権(男・女)
  - 【日 程】 6月26日-7月2日
  - 【開催地】 岩手県・花巻市総合体育館
  - 【試合結果】 男 子 1位：日本、2位：韓国、3位：チャイニーズタイペイ、  
4位：香港、5位：中国  
女 子 1位：韓国、2位：中国、3位：日本、  
4位：チャイニーズタイペイ、5位：香港
- 3) ハンドボール日韓戦2017
  - 【日 程】 7月29日
  - 【開催地】 東京都・駒沢公園体育館
  - 【試合結果】 男 子 日本28(12-13、16-15) 28 韓国  
女 子 日本25(9-19、16-16) 35 韓国
- 4) インターナショナルマッチ(アジア選手権壮行試合)
  - 【日 程】 1月13日
  - 【開催地】 東京都・アリーナ立川立飛にて開催(男子：対バーレーン)。
  - 【試合結果】 日本20(8-10、12-11) 21 バーレーン
  - 【備 考】 代表戦前には、「東京都少年男子国体強化試合」を開催